

# 通勤靴の基準 春・夏・秋Ver.

安全衛生マニュアルで決まっている通り、ヒールが高く不安定な靴や、サンダルでの通勤は不可となっております。デザインやサイズでそれぞれ異なる為、厳密な高さ等は決めることは出来ませんが、転倒などの災害が実際に発生しており、災害防止が目的ですのでご理解とご協力をお願い致します。

## ◇基本的な基準◇

- ①脱げないように、**かかとが入っている物**であること。
- ②**ヒール、または全体が低く**、不安定でないこと。  
(ヒールの高さはインヒール含め概ね4 cmまで)
- ③かかとの**接地面が広く**、不安定でないこと。  
(ヒール幅が、全体の4分の1程度以上あること)



## 【共通】

- ・スニーカー及びスポーツ用シューズ ⇒ ○

スニーカーを履いていても、かかとを折っていたら何の意味もありません。  
⇒かかとは折らずに履きましょう。靴底の減りも定期的に点検をしましょう。

※スポーツ用シューズ…ウォーキングシューズ、ランニングシューズ等、運動に適したシューズを指す。

- ・CROCS(クロックス)シリーズ ⇒ ×

素材を含め、通勤靴には適していません。



- ・サンダル

## 【男性】



## 【女性】



# 通勤靴の基準 冬Ver.

安全衛生マニュアルで決まっている通り、ヒールが高く不安定な靴や、サンダルでの通勤は不可となっております。デザインやサイズでそれぞれ異なる為、厳密な高さ等は決めることは出来ませんが、転倒などの災害が実際に発生しており、災害防止が目的ですのでご理解とご協力をお願い致します。

## ◇基本的な基準◇

- ①脱げないように、**かかとが入っている物**であること。
- ②**ヒール、または全体が低く**、不安定でないこと。  
(ヒールの高さはインヒール含め概ね4 cmまで)
- ③かかとの**接地面が広く**、不安定でないこと。  
(ヒール幅が、全体の4分の1程度以上あること)



## 【共通】

- ・長靴、スノトレ、スノーシューズ、ブーツ ⇒ ○
- ・スニーカー及びスポーツ用シューズ ⇒ ○ **でも!**  
**夏用の物をそのまま履くのは良くありません!**

⇒他の靴にも共通する事ですが、冬用で、**靴底の凹凸がしっかりあるもの、靴底のパターンが複雑なもの**を選ぶようにしましょう。



- ・サンダル及びヒールの高い・細いブーツ ⇒ ×
- ・CROCS(クロックス)シリーズ ⇒ ×

⇒素材を含め、冬の通勤靴には適していません。



◇上記を参考に、自分の足元から  
安全を作っていきます！！